

# 再評価結果(平成24年度事業継続箇所)

担当課:道路局 高速道路課

担当課長名:縄田 正

事業名	東北中央自動車道 <small>(なんようたかほた やまがたかみのやま)</small> (南陽高島～山形上山)		事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自:山形県東置賜郡高島町大字深沼 至:山形県上山市金瓶			延長	24km	
事業概要	東北中央自動車道は、福島県、山形県、秋田県の主要地方都市を結び、産業、経済、文化の文化の発展に資する路線である。					
H17年度事業化	H2年度都市計画決定(上山～山形上山) H8年度都市計画決定(南陽高島～上山)		H21年度用地着手		H23年度工事着手	
全体事業費	約1,079億円	事業進捗率	3%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	9,800台～10,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 971 / 1,037億円 事業費:810 / 877億円 維持管理費:161 / 161億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,216 / 2,216億円 走行時間短縮便益:1,850 / 1,850億円 走行経費減少便益:264 / 264億円 交通事故減少便益:101 / 101億円	基準年 平成23年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 2.5 (交通量 +10%) B/C = 2.1 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C = 2.1 (事業費 +10%) B/C = 2.5 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C = 2.4 (事業期間-1年) B/C = 2.2 (事業期間+1年)					
事業の効果等	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する 緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 他 6項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	山形県知事の意見:「東北中央自動車道 南陽高島～山形上山」を「事業継続」とすることについて、本県としては異存ありません。東北中央自動車道は、福島、山形、秋田3県を縦貫し東北地方の背骨となる重要な国土軸を形成し、東日本大震災からの東北地方全体の復興・発展のために不可欠な高速道路でありますので、一日でも早く開通されるようお願いいたします。					
事業評価監視委員会の意見	対応方針(原案)のとおり了承。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	なし					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得中であり、平成23年度から土工工事に先立ち試験盛土工事等に着手している。本線工事は平成24年度から順次着手していく。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成30年度の完成を目指して事業を着実に推進している。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						供用中区間: ——— 事業中区間: .....

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。